

私の働くきつかけは、祖母の認知症でした。

ある時から毎朝祖母を探すようになり、誰かが見ていないと行方不明になってしまいました。今思えば一家の一大事でした……。

祖母は介護が必要になり5年程して亡くなりましたが、私は「介護には、知恵なりコツなりがあり、勉強しておけば、もつと楽にこなせるかもしれない」と考え、ヘルパーの資格をとることにしました。

その後も家族の介護を経験しましたが、ヘルパーとしての勉強をしたおかげで、自分だけでなく、介護を受ける側も苦に思わない介護ができた様に感じました。

介護だけでなく、家族がケガでサポートが必要になった時も役に立ったと思います。

ヘルパーの資格を活かして利用者さんやそのご家族の介護負担軽減の力になればと思います。